

06款	農林水産業費	01項	農業費	01目	農業委員会費	
事業名					機構集積支援事業費	単位：円
事業内容	<p>農地中間管理事業が始まったことに伴い、農地の有効利用を図るための農地集積の推進活動、遊休農地の解消措置等の取り組みにより、担い手への農地の集積・集約化を促進する。</p> <p>1 農地の利用意向調査及び農地台帳整備 2 農地所有管理者に対する指導等 3 農業委員の資質向上を図る活動</p>			計 画 値	<p>遊休農地等解消面積 8 ha</p> <p>利用意向調査面積 6 ha</p> <p>農業委員の農地集積・集約化先進地研修実施</p>	
	成果	<p>農業委員による農地パトロール、農地相談、農地集積推進活動、また農地利用意向調査の実施等による農地集積の推進と遊休農地の解消の取り組みを計画通りに実施し担い手への農地の集積・集約化を促進することができた。</p> <p>1 農地の利用意向調査を計画通りに実施するとともに、農地台帳の整備を図った。 2 利用意向調査を基に、農地所有管理者へ農地の管理、集積化に対する指導を効果的に実施した。 3 農業委員による農地の集積・集約化の先進地研修を実施し、資質向上に繋げることができた。</p>			実 績 値	<p>遊休農地等解消面積 13.5 ha</p> <p>利用意向調査面積 9.6 ha</p> <p>農業委員の農地集積・集約化先進地研修 2カ所</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,662,000	2,449,886	1,800,000	0	0	649,886	

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					農畜産物放射能被害対策費（農林業系副産物運搬処理事業費）	単位：円
事業内容	<p>放射性物質の汚染により利用できなくなった牧草の処分を進めるため、集中保管等に要する経費を助成する。 なお、補助率は岩手県の10/10補助である。</p>			計 画 値	<p>利用自粛牧草の再ラッピング作業 約6,500個</p>	
	成果	<p>現在、市内3カ所で保管されている平成23年産利用自粛牧草の長期保管を見据え、再ラップ化事業の実施をした。 また次年度の保管施設の集約化を実施を見据え、平成23年産利用自粛牧草の全量の把握を行った。</p>			実 績 値	<p>東部集中保管施設（青笹） 1,855個 338.38 t 中部集中保管施設（附馬牛） 2,102個 636.83 t 西部集中保管施設（宮守） 669個 194.63 t</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
79,088,000	48,943,981	48,943,981	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費
事業名					単位：円
農畜産物放射能被害対策費（堆肥処理対策事業費）					
事業内容	東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、遠野市内の公共牧場が放射能汚染され、家畜を放牧できないことから舎飼になり、家畜排せつ物が増加することから、その処理（堆肥化）を行うとともに、生産された堆肥を除染後の公共牧場に散布し、牧草の生育を促すための車両等作業機器の維持管理を行う。			計	舎飼い家畜ふん尿受入量 1,800 t 公共牧場への堆肥散布量 1,000 t
	成果	市営牧野を利用できないことにより舎飼管理を余儀なくされた家畜の排せつ物を遠野市堆肥センターで受入をし、その処理を行うとともに、堆肥散布支援を行った。 次年度は、市営牧野が全面再開されることから、本事業は廃止となる。			実績
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
1,863,000		1,386,880		0	0
				0	1,386,880

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費
事業名					単位：円
農畜産物放射能被害対策費（遠野型牧草地再生対策事業費）					
事業内容	(株)東京電力福島第一原子力発電所放射能漏れ事故の影響により、牧草地の除染作業が必要となった土地の除染作業を円滑に進める。 国及び岩手県の事業スキームに乗らない部分を遠野市として独自で補助する。			計	設定なし
	成果	利用自粛要請がなされている牧草地の除染工事が全て完了した。 なお、平成28年度から全市営牧野の供用再開が可能となった。			実績
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
3,488,000		1,973,736		0	0
				0	1,973,736

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					農畜産物放射能被害対策費 (公共牧場利用自粛対策事業費)	単位：円
事業内容	東京電力福島原発事故に伴う放射性物質の影響により、公共牧場の利用自粛とされたことに伴い、畜産農家が自家施設等で牛の飼育管理を余儀なくされたことから、これに要する掛かり増し経費を補助し、農家負担の軽減を図る。			計画値	対象畜産農家数 220件 自家施設飼育管理頭数 950頭 市内公共牧場 850頭 市外公共牧場 100頭	
	成果	自家施設での飼養管理に係る掛かり増し経費補助により、離農の抑制と飼養頭数の維持に努めることができた。 また、一般社団法人遠野市畜産振興公社との連携により、管外放牧事業等との組み合わせにより、営農体系に合わせた労力支援を図ることができた。 なお、次年度からは市営牧野が全面再開されることから、本事業は廃止となる。			実績値	対象農家数 152件 対象頭数 1,098頭
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
15,472,000	9,320,184	4,627,590	0	0	4,692,594	

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					農畜産物放射能被害対策費 (いわて型牧草地再生対策事業費)	単位：円
事業内容	岩手県の牧草地再生対策事業 (補助率10/10) の対象とならない牧草地における放射性物質の低減及び生産物の風評被害対策として、除染 (草地更新) を行う場合に要する経費を助成する。 なお、補助率は岩手県1/2、遠野市1/2となる。			計画値	平成27年度工事实施目標面積 100ha	
	成果	今年度で施工希望箇所の作業を全て完了した。 また、昨年度に引続き、地域内での粗飼料生産と流通の協力体制が図られた。 なお、本年度で全作業を完了したことから、次年度から本事業は廃止となる。			実績値	工事实施面積 102.2973ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
114,482,000	114,480,000	52,680,000	0	0	61,800,000	

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					単位：円	
農畜産物放射能被害対策費（原木栽培しいたけ被害対策事業費）						
事業内容	東京電力(株)福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質の影響により、遠野産の原木しいたけから基準値を超えたものが出たため、平成24年以降に生産された露地栽培原木しいたけの流通が規制された。 ホダ場除染やホダ木処理を実行することにより、遠野産原木しいたけの早期流通規制解除を目指す。			計画値	基準値超えのホダ木処理 ホダ場除染の実施	
	成果	基準値を超えるしいたけのホダ木を収集、チップ化し、生産者の不安要因を取り除いた。処理済のホダ木については、一時保管場所である宮守町の砥森第3市有林内へ移動した。 ホダ場除染作業については、生産者との作業日程の調整に不測の日数を要したため、平成28年度に繰り越して実施する。			実績値	ホダ木処理量 89.21トン
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,776,000	2,456,843	2,456,843	0	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					単位：円	
農畜産物放射能被害対策費（原木栽培しいたけ）（繰越明許費）						
事業内容	東京電力(株)福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質の影響により流通規制となった原木栽培しいたけの流通規制解除に向けた、ホダ場除染を実施する。 当該事業は基準値を超えた原木の処分と、ホダ場の除染作業を行うものであるが、生産者との作業日程の調整に不測の日数を要したため、翌年度へ繰り越しての実施となった。			計画値	ホダ場除染 4,586㎡	
	成果	原木しいたけの生産継続を希望している生産者の、ホダ場の汚染落葉層を除去することにより、ホダ場の放射線量の低減を図り、生産を継続できる環境を整えた。			実績値	ホダ場除染 4,586㎡
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,853,000	4,851,988	4,851,988	0	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					中山間地域等直接支払事業費	単位：円
事業内容	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農用地において、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対して交付金を交付する。協定に定められた、農用地管理及び農業生産活動における体制整備強化の目標が達成されるよう、積極的に支援を行う。			計画	農用地管理の目標達成協定 64協定	農業生産活動における体制整備強化の目標達成協定 64協定
	値	協定面積	8,569,035㎡			
成果	平成27年度から第4期対策が始まり、新規の3協定を含む61協定が取り組みを開始し、農地維持活動の面積が平成26年度 8,035,917㎡に対し平成27年度は8,145,768㎡となり、109,851㎡増加した。全ての協定において、農用地管理の目標が達成され、中山間地域における農用地の保全がなされた。また、担い手への作業委託や農業機械の共同利用など、事業を通じて地域の営農体制整備が図られ、農業生産活動における体制整備強化の目標を設定した49協定全てで目標が達成された。			実績	農用地管理の目標達成協定 61協定	農業生産活動における体制整備強化の目標達成協定 49協定
	値	協定面積	8,145,768㎡			
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
123,376,000	123,320,694	92,343,718	0	0	30,976,976	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					とおの農業担い手支援総合対策事業費	単位：円
事業内容	1 農林畜産経営の高度化・多角化を進め、競争力のある経営体の育成を図るため、担い手、集落営農、生産組織等が実施する基盤整備、機械、施設整備に対して支援を行う。 2 特定法人農地貸付事業により、市内の株式会社等が農業生産を行うことを目的とする農地確保について、農家との仲介を行い企業の農業参入に努める。			計画	支援団体数 2団体 (上郷町農産物直売組合、 宮守川上流生産組合)	特定法人農地貸付事業者数 2業者
	値					
成果	1 一次産品の付加価値化と年間を通じた安定的な販売体制整備を図るため機械導入に対し支援することにより、組織の経営力強化が図られた。畜産では前年度整備した堆肥舎で使用する作業機械の整備を行い、堆肥生産に係る省力化の推進を図るモデル整備を行った。また、新規就農者を中心とした団体に対し、畜舎、堆肥舎、堆肥生産機械の整備を行い、地域の担い手の確保と新規就農者の育成のためのモデル整備を図ることができた。 2 特定法人農地貸付事業により2事業者に対し農地の貸付を行い、企業の農業参入の支援に努めた。			実績	支援団体数 3団体 上郷町農産物直売組合 プレハブ冷蔵庫 1式 宮守川上流生産組合、 下関和牛繁殖組合 ホイルローダ 2台 牛舎 1棟 堆肥舎 1棟	特定法人農地貸付事業者数 2業者
	値					
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,335,000	13,149,700	8,503,300	0	393,800	4,252,600	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					野生鳥獣害防止対策事業費	単位：円
事業内容	野生鳥獣による農作物被害や人身被害を防止するため、駆除、防除、人材育成の3つの柱に、獣種に応じた効果的な対策を進め、個体数の削減及び農作物被害の軽減を図る。			計画値	ニホンジカ捕獲計画	1,000頭
					ツキノワグマ捕獲計画	10頭
成果	ニホンジカ対策では、鳥獣被害対策実施隊を中心に捕獲応援隊制度を活用しながら農地周辺部におけるわなによる捕獲を強化するとともに、遠野地方有害鳥獣駆除協議会が行う事業と連携しながら生息数の増加防止に努めた。ツキノワグマは、目撃、出没情報や農作物被害等に対して適切な対策や捕獲を行い、また、カラス対策についても、市内6カ所に設置しているわなを活用した捕獲により、農作物被害の減少に努めた。防除対策では、電気牧柵の設置支援を継続し、特に3戸以上がまとまって広範囲の農地を防除する取り組みを奨励することにより、新たな農作物被害の発生防止に努めた。			実績値	ニホンジカ捕獲計画	705頭
					ツキノワグマ捕獲計画	27頭
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
16,888,000		16,085,621		275,304	0	15,500,000
						一 般 財 源
						310,317

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					タフ・ビジョン推進事業費	単位：円
事業内容	農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）の『7つの目指すべき姿』の実現にむけて、関係機関及び団体の連携並びに協働体制の更なる強化を図る。また、各種重点課題への取り組みのため、専門的農業知識経験や農業振興に豊富な経験を有する人材を確保すると共に、農地の有効活用、高収益農家拡大と新規就農者の確保・育成のための事業を行い、より一層の農業振興を図る。さらに平成28年度を初年度とする第2次遠野市農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）を策定する。			計画値	アドバイザー等配置	5人
					認定農業者数	415経営体
成果	1 農地利用集積アドバイザー、農業活性化アドバイザー、地域活性化アドバイザー、担い手支援アドバイザー、集落営農支援業アドバイザーの5人のアドバイザーの配置により、各種重点課題への取り組み及びきめ細かな農家の相談や農業技術の指導、新品目等の導入支援を行った。また、地域の担い手となる認定農業者に対し農業経営の改善を支援したほか、耕作放棄地の再生事業により耕作放棄地の一部解消に結び付けた。			実績値	アドバイザー等配置	5人
	2 農林業を中心とした本市の第一次産業を総合的・計画的に振興するため第2次遠野市農林水産振興ビジョンの策定に取組んだ。				認定農業者数	354経営体
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
14,934,000		14,051,100		0	0	13,600,000
						一 般 財 源
						451,100

06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費	
事業名 遠野ふるさとあぐりスクール事業費					単位：円
事業内容	<p>農業者の高齢化が急速に進行する中で、担い手の確保が喫緊の課題となっていることから、新規就農者の育成や新規作目技術の習得の機会を設け、就農者の確保を図る。</p> <p>また、青年等が地域農業の担い手として農業振興及び地域活性化に寄与する人材育成を図るため、国内外の農業研修に要する経費に対し補助金を交付する。</p>			計画値	講座開催回数 12回
					参加者数 40人
成果	<p>農業従事する希望者や新規就農者を対象に、農業研修などを実施した。受講者の中には、新品目の導入や就農に向け前向きに動き出した方もおり、農業の基礎知識を周知することができた。</p> <p>【あぐりスクール研修】</p> <p>1 圃場研修...土作りの基礎、野菜の栽培技術、出荷調整の基礎など</p> <p>2 先進地研修...農業研修施設、農産加工技術</p> <p>3 加工研修コース...竹細工(ざる)づくり</p> <p>【国内外研修事業】</p> <p>国外研修 農産物輸出市場加工販売研修(台湾 10日)</p> <p>クラフトビール生産販売及びホップ生産研修(アメリカ 5日)</p> <p>農産物及び加工品市場調査(イタリア 10日)</p>			実績値	講座回数
					ほ場研修 6回 述べ59人
			先進地研修 1回 16人		
			加工研修 4回 述べ60人		
			研修者		
			国外研修 4人		
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,328,000	1,198,404	0	0	26,000	1,172,404

06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費	
事業名 経営所得安定対策推進事業費					単位：円
事業内容	<p>経営所得安定対策等実施要綱に基づき、遠野市農業再生協議会が実施する制度の周知、営農計画書取りまとめ、現地確認等の取り組みに要する経費に対し支援する。</p>			計画値	米の直接支払交付金申請面積 1,656ha
					主食用水稲面積に対する申請面積の割合 92.0%
成果	<p>制度への加入促進を図るためパンフレットの配付やケーブルテレビによる周知等を実施するとともに、関係機関・団体の協力により申請受付や現地確認など、円滑な事業実施に向けた取り組みに対し支援した。</p> <p>米の直接支払交付金の申請は、主食用水稲の作付面積が減少したことにより計画値を下回ったものの、作付面積に対する申請面積の割合については概ね計画値を達成した。</p>			実績値	米の直接支払交付金申請面積 1,597ha
					主食用水稲面積に対する申請面積の割合 91.7%
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,600,000	8,600,000	8,600,000	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名 青年就農給付金事業費					単位：円	
事業内容	<p>経営開始後の新規就農者の所得を確保することにより、青年の就農意欲の喚起と定着を促し、青年の就農者数の増大を図るため青年就農給付金の交付を行う。</p> <p>【給付額】          単身で就農 150万円/年          夫婦で就農 225万円/年</p>			計 画 値	給付経営体 単身 10経営体 (新規4 継続6) 夫婦 3経営体 (新規1 継続2)	
	成果	<p>地域農業の中心的な担い手となる新規の青年就農者に対して、農業経営が不安定な就農直後の所得を確保するための給付金を交付した。</p> <p>また、遠野普及サブセンターと連携を図り、巡回訪問で就農状況確認を行うとともに、農閑期を活用し、安定した農業経営に結びつけるための勉強会を実施し、新規就農者のフォローアップ支援に努めた。</p>			実 績 値	給付経営体 単身 9経営体 (新規3 継続6) 夫婦 3経営体 (新規1 継続2)
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,875,000	12,375,000	12,375,000		0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名 ASTパワーアップ事業費					単位：円	
事業内容	<p>遠野市農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)に基づき、意欲のある農業者・団体の所得向上に向けたさまざまな取り組みに対して支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲ある就農者等の生産拡大支援</li> <li>・重点品目等の生産面積拡大の支援</li> <li>・農業に関する研修支援</li> <li>・農業情報発信</li> </ul>			計 画 値	ハウス導入支援 12棟 園芸重点品目栽培推進支援 ピーマン(トンネル栽培) 30a アスパラガス 200a ニラ 100a ほうれんそう(夏期栽培) 資材支援 3棟 視察研修支援 10団体 情報発信 アスト通信放映	
	成果	<p>重点品目や施設園芸品目を中心とし、意欲ある農業者や農業団体の取り組みに対して支援を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 重点推進品目栽培拡大事業等 34事業への支援を実施</li> <li>2 栽培技術の向上、農産物加工等の研修視察への支援を実施</li> <li>3 「アスト通信」の収録、放映 (毎週水曜日 遠野テレビ)</li> </ol>			実 績 値	ハウス導入支援 15棟 園芸重点品目栽培推進支援 ピーマン(トンネル栽培) 30a アスパラガス 78a ニラ 50a ほうれんそう(夏期栽培) 資材支援 2棟 視察研修支援 6団体 アスト通信 53回
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
17,800,000	17,064,972	0		0	0	17,064,972



06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費	
事業名 農地中間管理事業費					単位：円
事業内容	地域マスタープランを実現するために、農地集積への協力者に対して農地集積協力を交付する。 農地集積協力金			計 画 値	1 経営転換協力金 30戸 (30ha)
	1 経営転換協力金 1戸当たり 0.5ha以下 300千円 0.5ha超2.0ha以下 500千円 2.0ha超 700千円				2 地域集積協力金 1地区 (105ha)
成果	地域マスタープランを実現するために、農地集積への協力者に対して農地集積協力を交付した。 農地集積協力金			実 績 値	1 経営転換協力金 0.5ha以下 44戸 (12.83ha) 0.5ha超2.0ha以下 44戸 (40.98ha) 2.0ha超 1戸 (2.00ha)
	1 経営転換協力金 35,900千円 0.5ha以下 300千円×44戸 = 13,200千円 0.5ha超2.0ha以下 500千円×44戸 = 22,000千円 2.0ha超 700千円×1戸 = 700千円				2 地域集積協力金 1地区 (99.55ha)
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
73,760,000		73,731,343		71,860,000	0
				そ の 他	一 般 財 源
				1,850,000	21,343

06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費	
事業名 六次産業推進事業費					単位：円
事業内容	地域の基幹産業である農林水産業と商業・工業等の産業間連携の再構築を図り、六次産業化・地産地消等に関する施策を推進する。 市の推進体制 遠野市六次産業推進本部（平成26年設置） …市の産業振興部と農林畜産部が連携し、事業を推進する。 地域の推進体制 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会（平成27年設置） …国・県・遠野市、金融機関、農業団体、商工団体、事業者等で構成し、地域の六次産業化等を推進する。 遠野市産直連絡協議会（平成25年設置） …農産物直売所で構成し、地産地消の取り組みを推進する。			計 画 値	農商工連携（六次産業化） 支援数 14件 研修会開催 2回
					大学等試験研究機関との共同研究数 1件
成果	遠野市六次産業推進本部に加え、遠野市六次産業化・地産地消推進協議会で六次産業化・地産地消推進戦略を策定し、地域の推進体制を再構築した。六次産業化等の推進にあたっては、商品開発コーディネーターを配置し、新商品開発や商品改良の相談に対応したほか、県との連携により商談会開催を招致したほか、遠野ふるさと公社をはじめ市内事業者の商談会、物産展への出展など、国内外への販路拡大に向けた取り組みを支援した。 また、産直の情報発信等をテーマに、岩手大学との共同研究を実施した。地産地消の推進においては、遠野市産直連絡協議会の事業支援のほか、遠野市産直給食会を通じて、学校給食への地元食材供給に努めた。 特に農薬適正管理や、出荷制限されている野生きのこ類の規制解除に向けた基礎調査等、安全・安心対策に重点的に取り組んだ。			実 績 値	農商工連携（六次産業化） 支援数 40件 研修会開催 4回（73人）
					大学等試験研究機関との共同研究数 4件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
1,922,000		1,765,386		82,420	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	1,682,966

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					水田フル活用推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野産米の品質向上と需要のある米づくりを推進することにより農業者の所得確保を図るため、水田の団地化によるカメムシの集団防除に対して支援することにより効果的な防除体制の確立を図る。</p> <p>また、今後、需要の増加が見込まれる飼料用米と消費者に生産を求められている「いわてっこ」について、出荷・販売へつなげる支援を行い作付の誘導を図るとともに、産地と消費地と顔が見える交流を行うことにより、消費者との信頼関係を築き、遠野産米の安定的な販路確保を図る。</p>			計画値	カメムシ被害率	7%
					「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積	300ha
成果	<p>病虫害防除について、集団防除の面積が拡大するとともに、新たな組合等が組織化されるなど、効果的な防除体制の整備により、カメムシ被害が減少が図られた。</p> <p>また、需要に応じた米の生産については、平成26年産の米価の下落を受けて、いわてっこの作付面積が減少したが、飼料用米は平成26年産に比べ7倍の作付面積まで拡大することができた。</p> <p>産地と消費地と顔が見える交流事業として、消費地で販売促進活動を実施し、遠野産米の販路確保に向けた取組を推進した。</p>			実績値	カメムシ被害率	1%
					「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積	316ha
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,594,000	9,984,447	368,000	0	500,000	9,116,447	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					畜産振興総合対策事業費	単位：円
事業内容	<p>地域畜産業の振興を図る上で、生産意欲向上、各種協議会負担金などソフト的な支援を実施する。</p> <p>公共牧場の機能維持向上を図り、豊富な草資源を生かした放牧利用をしながら、低コスト、質量兼備、高能力、高品質な和牛生産に取り組む。</p> <p>また、酪農経営の向上を図るための牛群検定の推進を図るなど、地域畜産の総合的な振興を図る。</p>			計画値	和牛子牛の出荷頭数	2,100頭
					牛群検定普及定着化	18戸・480頭
成果	<p>放射性物質被害により放牧事業の利活用の促進は図られなかったものの、農家の生産意欲向上、地域畜産物の普及推進、安心・安全の確保のため各種協議会へ参画や、法制化がなされた、畜産物の価格安定対策事業への参加など畜産経営の支援と指導に努めることができた。</p> <p>特に、県内化成場の倒産による死亡牛の処理に当たっては、関係機関との連携により、営農活動への影響を最小限に食い止めることができた。</p>			実績値	和牛子牛の出荷頭数	1,633頭
					牛群検定普及定着化	17戸・434頭
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,582,000	7,002,801	1,683,443	0	248,000	5,071,358	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					遠野牛確立生産強化対策事業費	単位：円
事業内容	いわて遠野牛のブランド確立を図るため、黒毛和種繁殖牛及び肥育牛の導入を支援するほか、簡易牛舎等生産基盤整備の支援、家畜防疫対策等を行い、家畜飼育頭数の増頭を促進する。 いわて遠野牛生産目標（平成30年） 飼養頭数 繁殖牛 4,000頭 肥育牛 3,000頭 出荷頭数 子牛 2,800頭 肥育牛 1,600頭			計 画 値	いわて遠野牛生産目標 （平成30年） 飼養頭数 繁殖牛 4,000頭 肥育牛 3,000頭 出荷頭数 子牛 2,800頭 肥育牛 1,600頭 黒毛和種優良素牛導入数 300頭 牛アカバネ病予防接種 3,500頭	
	成果	肉用牛市場における配合飼料の役割と品質、市場性に関する調査事業を実施し、市営牧野で使用する配合飼料の基礎資料として、遠野市畜産振興公社や市内事業者とともに取り組んだ。また、県内にある模範的牧場から管理者を招聘し、現地指導会を実施し、市営牧野を中心とした生産現場の体制強化を図ることができた。 また、市内農家と連携し、黒毛和種の保留、導入支援及び農家の生産基盤整備に対する支援を行い、繁殖、肥育の一貫生産体制の構築を図った。			実 績 値	いわて遠野牛生産量 （平成27年） 飼養頭数 繁殖牛 2,858頭 肥育牛 2,164頭 出荷頭数 子牛 1,633頭 肥育牛 1,244頭 黒毛和種優良素牛導入数 185頭 牛アカバネ病予防接種 3,389頭
予算額		決算額	財源内訳			
18,211,000	12,193,920	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	71,000	12,122,920	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					公共牧場再編整備事業費	単位：円
事業内容	公共牧場間の機能分担を図りながら地域公共牧場の再編整備を進め、基幹牧場については草地の造成整備や隔障物整備、草地管理機械等の整備を一体的に行うことで、牧場の生産性や利用率を改善し、飼料自給率の向上を図ることで飼料基盤に立脚した生産性の高い大家畜生産の実現に寄与する。			計 画 値	大野平工区 草地造成 9.20ha 農具庫 300.00㎡ 農具庫導入 19台 石羽根工区 測量試験 荒川工区 草地整備 21.70ha 道路整備 2,860m 隔障物・雑水用	
	成果	今年度実施した、荒川工区及び大野平工区の完成を持って本事業を完了することができた。 来年度からは、効率的な市営牧野の運営を図り、市内畜産農家農家へのより一層の生産省力化による支援を実施する。			実 績 値	荒川工区 草地造成 3.75ha 草地整備 14.9ha 隔障物整備 5,831.10m 大野平工区 草地造成 2.87ha 飼料畑造成 10.42ha
予算額		決算額	財源内訳			
141,211,000	141,121,302	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		73,573,000	67,500,000	0	48,302	

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 県営ほ場整備事業費					単位：円	
事業内容	<p>県が事業主体として実施する圃場整備事業に係る事業費の市負担金を支出する。平成27年度は、換地計画原案策定業務（換地選定作業）を実施する。</p> <p>負担額：5,000,000円×0.1=500,000円</p> <p>県営ほ場整備事業経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）</p> <p>受益面積 32.3ha 事業期間 平成27年度～平成32年度 総事業費 689百万円</p>			計画値	負担金 500,000円	
	成果	<p>県営ほ場整備事業経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）に係る換地計画原案策定業務（換地選定作業）を実施し、市負担金を支出した。</p> <p>負担額：3,997,000円×0.1=399,700円</p>			実績値	負担金 399,700円
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
500,000	399,700	0	0	0	399,700	

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 経営体育成促進事業費					単位：円	
事業内容	<p>担い手農家を中心に、効率的土地利用及び農業経営を確立するため、農地の集団化による耕畜連携の確率と生産コスト低減化への誘導を行う。</p>			計画値	農地集団化調整業務 農地流動化調整業務	
	成果	<p>ほ場整備事業に付随して行われる岩手県農業経営高度化支援事業を円滑に推進するために、土地利用調整活動を実施して事業計画の推進を図ることを目的に業務委託を実施。3月に盛岡市と矢巾町の農事組合法人を先進地視察し農地集積に向けた取り組みについて研修をした。</p>			実績値	農業経営高度化支援事業 調整（荒屋地区）業務委託 200,000円
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
412,000	409,020	220,000	0	0	189,020	

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 多面的機能支払事業費					単位：円	
事業内容	<p>地域における農地・水・環境の良好な保全と資質向上を図るため、農地・農業用水・農道等の保全向上に関する維持活動、地域ぐるみでの共同活動、並びに、非農業者・子どもを含めた多様な参画者による農村環境保全活動、さらに、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取り組みに対して交付金を交付し、総合的に支援する。</p> <p>交付金の負担割合は、国2分の1、県4分の1、市4分の1となっており平成27年度から事業実施主体となった遠野市が各活動組織に交付金を交付している。</p>			計 画 値	<p>活動組織数 農地維持69、共同活動57 長寿命化42 認定農用地面積 農地維持 231,507 a 共同活動 199,727 a 長寿命化 135,347 a 交付金額（市負担分） 農地維持 16,103,713円 共同活動 8,610,502円 長寿命化 11,279,950円</p>	
	成果	<p>全ての活動組織において農地維持活動が行われ、耕作放棄地発生防止に効果があった。</p> <p>共同活動実施活動組織では、遊休農地解消に向けた取り組みや水路、農道の修繕活動のほか、農村環境保全の取り組みとして小・中学生や老人クラブなどの参画による花壇整備やゴミ拾い、水質調査等が行われ、農業用施設及び農村環境の保全が図られた。</p> <p>遠野市の農振農用地（田）のカバー率は56%である。新規で13活動組織が追加になり、農振農用地のカバー率は、対前年で9%上がる等の成果があった。</p>			実 績 値	<p>活動組織数 農地維持63、共同活動47 長寿命化34 認定農用地面積 農地維持 233,001 a 共同活動 196,250 a 長寿命化 142,195 a 交付金額（市負担分） 農地維持 15,620,125円 共同活動 8,361,470円 長寿命化 9,367,065円</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
135,447,000	135,440,519	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
		101,595,883	0	0	33,844,636	

06款 農林水産業費		01項 農業費		07目 地籍調査費		
事業名 地籍調査事業費					単位：円	
事業内容	<p>国土の開発及び保全、並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査する事業である。</p> <p>地籍調査の成果は、土地に関する諸施策の基本資料として幅広く活用されるとともに、法務局に送付され、不動産登記の記載が改められることで、所有者の資産の保全管理や事業等の円滑な進行が図られる。</p>			計 画 値	<p>一筆地調査 3.27km<sup>2</sup> 閲覧 3.24km<sup>2</sup></p>	
	成果	<p>一筆地調査（現地調査）は、上郷町の一部 3.27km<sup>2</sup>を対象に実施し、所有する土地一筆ごとに隣接者と立会により境界を決定し、細部測量を行った。</p> <p>また、平成26年度に細部測量を行った上郷町の一部 3.24km<sup>2</sup>は、地籍図原図と地籍簿案を作成し閲覧を行った。閲覧後は国及び県の認証を受け、法務局へ調査の成果を送付することとなる。</p>			実 績 値	<p>一筆地調査 3.27km<sup>2</sup> 閲覧 3.24km<sup>2</sup></p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
29,650,000	29,436,824	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
		20,400,000	0	0	9,036,824	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 市有林造林事業費					単位：円
事業内容	遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業の振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。 市有林面積 第一種市有林 1,964.0 ha 第二種市有林 103.7 ha 計2067.7 ha 推定材積 55万立方メートル			計 画 値	造林 5.00 ha
					下刈 14.41 ha
成果	間伐等の施業実施による市有林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。 なお、樹種転換事業は伐採するアカマツを木質バイオマス(燃料用チップ)として利用するため、平成27年度より着手し、平成28年度に完了することとした。 また、県からの追加実施要望により、年度途中に予算措置した間伐事業については、事業実施市有林の選定に時間を要したため、平成27年度より着手し、平成28年度に繰り越して実施することとした。			実 績 値	間伐 20.00 ha
					忌避剤散布 11.00 ha
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
26,132,000		13,473,000		そ の 他	一 般 財 源
				9,956,574	0
				3,516,426	0

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 国土保全森林対策事業費					単位：円
事業内容	森林の公益的機能を高度に発揮するため、また、市内森林資源の質を高めるため、森林所有者等による森林整備に対して助成を行い、総合的かつ集中的な間伐の実施及び造林・保育の促進と森林環境の保全を図る。 具体的には、国・県の間伐等補助事業への嵩上げと、間伐材を搬出した経費等に対して単独で助成を行う。 森林整備事業（国・県補助68%対象事業）への嵩上げ22% 間伐材搬出 1,800円 / 1 m <sup>3</sup>			計 画 値	除間伐 300ha
					造林 50ha
成果	間伐、造林等の森林整備の着実な実施及び間伐材の搬出が行われたことにより、水源かん養、土砂流出防止等森林の有する多面的な機能が維持・増進された。 また、伐採後の再造林等の実施により、適切な森林整備を行うことができた。			実 績 値	搬出材積 3,000m <sup>3</sup>
					間伐 21.25ha
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
25,000,000		24,997,636		そ の 他	一 般 財 源
				0	0
				0	24,997,636

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					単位：円	
森林のくに遠野循環型産業促進事業費						
事業内容	森林資源循環型産業の拠点として、遠野地域木材総合供給モデル基地内の川上から川下に至る各事業体の総合力を発揮するとともに、森林資源の循環利用の促進及び地域材の需要拡大に向けた活動を支援する。			計画値	森林資源循環利用促進及び地域材需要拡大活動調査活動及び講演会開催	
	成果	森林資源の循環利用の促進としての木質バイオマス利活用検討に係る先進地視察研修等の調査活動を実施した。 遠野地域木材総合供給モデル基地（遠野木工団地）への視察者や勉強会において、地域材の需要拡大情報を発信するためのパンフレットを作製した。			実績値	研修会参加 2人 視察研修参加 3人 遠野木工団地視察者 16団体 163人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
500,000	500,000	0	0	0	500,000	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					単位：円	
松くい虫対策事業費						
事業内容	平成23年度から遠野市内全域が松くい虫の被害地域に拡大された。市内での被害拡大、近隣の未被害地域である自治体への被害拡大を防ぐため、枯損木を発見した場合には早期駆除を行う。			計画値	駆除処理材積 600m3 樹幹注入 100本	
	成果	県森林病害虫防除員との連携による防除体制を強化し、市内全域での被害の早期発見・早期駆除の徹底を図ったほか、未被害地域への被害拡大防止に努めた。 また、福泉寺周辺山林のアカマツに対し樹幹注入を行い、松くい虫被害の予防に努めた。			実績値	処理材積 648.08m3 樹幹注入 166本
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
18,570,000	18,369,998	13,881,726	0	0	4,488,272	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					森林のくに振興事業費	単位：円
事業内容	間伐等の森林整備を実施しようとする森林所有者の、事業実施前に支払う前金の負担を軽減するため、遠野市及び遠野地方森林組合が出資を行い、遠野地方森林組合において補助相当額を貸付けることで円滑な事業実施を推進する。 貸付金は、事業完了後の補助金交付の時点で精算、返戻される。			計画値	森林整備面積	320.00ha
	成果	森林所有者の一時的な負担を軽減することができ、健全な森林の育成及び間伐作業員の雇用による地域山村の振興と活性化を図ることができた。			実績値	森林整備面積 338.10ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
25,000,000	25,000,000	0	0	25,000,000	0	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					里山美林推進事業費	単位：円
事業内容	平成18年度から創設された「いわての森林づくり県民税」を活用し、市内児童生徒を対象とした森林学習会等の開催や県産材を使った木製机椅子などを学校施設に導入するなどし、循環型の森林保全に対する理解を深める活動を推進する。			計画値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数	2校延べ50人
	成果	土淵小学校に整備する木製の机と椅子について、実際に利用する土淵小学校の児童に製作過程を見学してもらい、さらに木工工作を体験することで、木製家具への愛着を深めることができた。 また、附馬牛小学校においては原木しいたけ栽培の体験、学校林探索及び木工工作を実施し、森林への関心を高めることができた。 本事業を通じて、地域材の活用が森林にもたらす効果等について理解を深め、森林保全への意識啓発を促すことができた。			実績値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数 2校延べ39人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
203,000	99,536	99,536	0	0	0	



06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 緑のふるさと協力隊受入事業費					単位：円
事業内容	山村に大きな関心を持った若者たちが農林業等の活動体験を通して、社会貢献を果たすことを目的として、地球緑化センターが派遣する若者を受け入れる。			計 画 値	受入隊員数 1人 活動日数 240日 (活動期間4月～3月) 情報発信 ブログ公開 45回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回
	活動が短期間ではあったが、市内の農家、農業生産法人、市が行うイベント等での活動のほか、伝承保存活動への参加など、積極的に住民と触れ合うことで地域住民や各種団体の活性化が図られた。 また、活動を通じて知り得た「遠野」をインターネット(で・くらす遠野サイト内)で、市内外に情報を発信した。 今後もこの事業を継続して実施し、「遠野」の情報発信に努めていく。				実績 値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,353,000	1,350,179	0	0	800,000	550,179

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 森林整備地域活動支援事業費					単位：円
事業内容	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付する。 森林所有者又は森林経営の委任を受けた者による森林経営計画の作成を促す「森林経営計画作成促進」や、森林経営計画作成に向けた既存路網の改良を行う「森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備」を支援する。			計 画 値	森林経営計画作成 45ha 路網整備 643ha
	市内38カ所の山林における現地調査実施により、森林経営計画策定のための情報収集に要した実費に対し、交付金を交付した。 交付金交付額 813,436円				実績 値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,037,000	813,436	713,853	0	0	99,583

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 木質バイオマスエネルギー活用推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>林野庁が行う「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」の委託を受け、再生可能エネルギーである林地残材や工場端材などの森林資源の循環利用について、地域一体となって木質バイオマスエネルギーの利用システムや新たなシステムの実証に取り組む。</p> <p>1 小型チップボイラーの整備による、チップ利用拡大の実証 2 森林から低コストにチップを供給するための機械整備と実証 3 大型パークボイラー整備による、パークの有効活用と熱生産の実証</p>			計画値	<p>小型ボイラーの整備・実証 大型ボイラーの整備・実証 林業機械の整備・実証 チップ保管施設の整備・実証</p>	
	成果	<p>平成26年8月8日に市内企業が中心となり設立した「遠野市木質バイオマス利活用検討協議会」に委託し、実証事業に取り組んだ。 同協議会において、木材産業部会、木材需要部会、林業部会の3つの部会を組織し、それぞれ実証事業の検討を行った。</p> <p>1 チップボイラー及び建屋の整備・実証 2 パークボイラー及び建屋の整備・実証 3 チップ保管施設の整備・実証 4 林業機械の整備及びチップ生産システムの実証</p>			実績値	<p>小型ボイラーの整備・実証 大型ボイラーの整備・実証 林業機械の整備・実証 チップ保管施設の整備・実証</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
200,300,000	200,083,860	199,999,960	0	0	83,900	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 菌床しいたけ生産資材導入事業費					単位：円	
事業内容	<p>被災地の復興、食料基地の形成、特用林産施設の効率化のため、被災生産者等の周年生産・出荷体制に必要な生産資材の導入を支援する。</p>			計画値	<p>実施団体 1 組合</p>	
	成果	<p>しいたけ周年生産出・荷体制構築に向け、組合の生産資材（菌床）導入経費の一部を支援した。 震災の風評被害等により、壊滅的な被害を被ったがこの支援を行うことにより、徐々にではあるが、生産体制が復調してきている。</p>			実績値	<p>実施団体 遠野菌床しいたけ生産組合 生産資材導入実績 688,804床</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
35,640,000	35,640,000	35,640,000	0	0	0	